

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ 岡町校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・トイレや各部屋の名称や、案内のための矢印をわかりやすく掲示している。 ・児童の特性に応じてスケジュールを細分化したり、絵カードで提示している。	・将来的にスロープ化や手すりをつけることを検討していきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・床にはパズルマットを敷き詰めて安全に配慮している。毎日サービス提供開始前に掃除を行っている。	・引き続きおこなっていく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・毎月の教室会議と、毎日のミーティングで実施されている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	・都度ご意見頂き改善に努めている。 ・第三者評価は受けていないが、社内本部による評価基準を設けて業務改善につなげている。 ・ご意見をいただいた場合は職員で共有し、同じ事をしない様に留意する。	・引き続き改善点を把握し迅速に対応していく
9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		・引き続き職員の資質向上を図るため定期的実施していく	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	6	0		・引き続き継続していく
	18	6	0		・引き続き継続していく
	19	6	0		
	20	6	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	6	0		
	22	6	0		
	23	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童がいない為。 ・現在、該当する利用者はいない。 ・現状医療的ケア児童の利用が無いが、連携できる準備はできている。 ・今現在該当児童がいないが、受け入れた際には各種関係機関と密に連携を取りあうようにする。 	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	24	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童がいない為。 ・相談が必要な児童に対しては保護者同意の上で主治医に相談しながら支援の方針を決めている。 ・今現在該当児童がいないが、受け入れた際には関係者と密に連携を取りあうようにする。 	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	25	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全利用児童はできていない。 ・必要に応じて行っている。 	・引き続き継続し連携を深めていく
	26	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全利用児童はできていない。 ・必要に応じて行っている。 	・引き続き継続し連携を深めていく
	27	6	0		
	28	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類に移行されたので、今後始める予定。 ・利用者のほとんどが地域の学校に通っているため、特別にそのような機会を設けてはいない。 ・必要に応じて行っている。 	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
	29	6	0		
	30	6	0		・引き続き継続して行っていく
31	6	0		・限定的な回数にならないようもっと多くの機会を提供していきけるよう努める	
32	6	0			
33	6	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		・引き続き継続して行っていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・「わくわくカフェ」という保護者向けイベントを実施している。	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	・コロナが5類へ移行したので、今後運営予定。 ・コロナが5類に移行されたので、今後行える様に進めていく。	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・食べ物を提供する機会がない為、指示書をいただいていない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。